

情報メディア教育センターにおける広報の発刊

電気・情報系（情報メディア教育センター） 松田 悟

1 はじめに

センター沿革の概略は、1966年電子計算機室発足、1972年データステーション併設、1973年工学部附属情報処理教育センター設置、1974年電子計算機室廃止、1997年工学部附属情報メディア教育センター設置である。電子計算機室当時からの広報の発行形態は、大まかに言って、手書き（後に和文タイプ）からコンピュータによる作成に、あるいは“紙に印刷して配布”から“コンピュータによる配布”に替わってきている。

広報発行形態の移り変わりと、今年度から使用しているホームページとホームページ作成のためのHTML言語について紹介する。また、現状の問題点と今後の発行方法についても述べる。

2 広報発行形態の推移

センターでは、ほぼ定期的に広報を発行している。広報の発行の形態は①手で作成し印刷機（輪転機）で印刷②コンピュータによる作成・印刷③コンピュータによる作成からメール配信へと替わってきた。ここではそれらの特徴について述べる。

①印刷機で印刷…人手を介して配布

～83.5 手書き、和文タイプライタまたはコンピュータ（82年7月号外以降）で原版を作成し印刷機（輪転機）で印刷した（図1）。配布先は手書きで記入した。

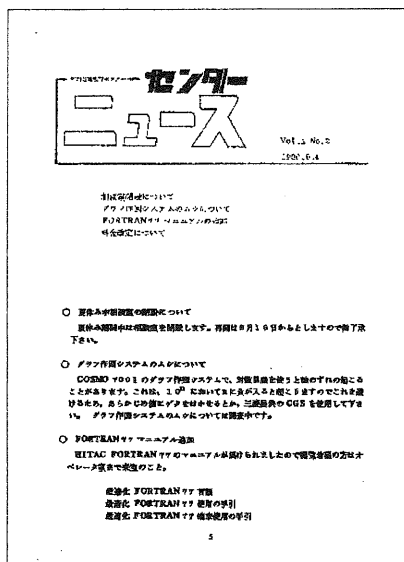


図 1

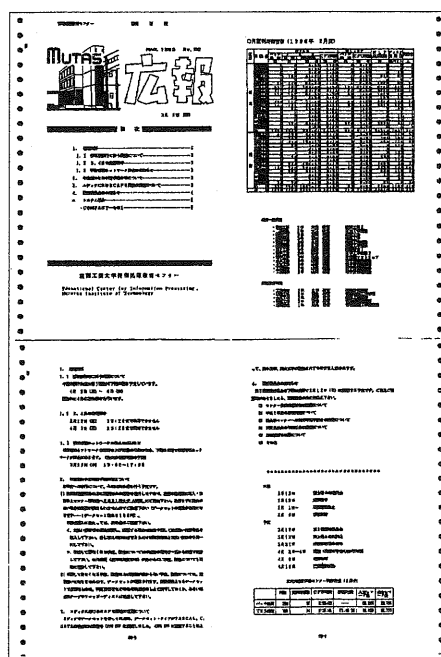


図 2

②コンピュータで作成し印刷…人手を介して配布

83.7~95.2 汎用コンピュータ FACOM M-170F (82.10, 82.12 導入)、同 M-380 (88.3 導入) を使用する。汎用機の日本語文書処理機能 (FDMS あるいは ODM) により作成・編集し、連続紙用のレーザープリンタ装置で印刷した (図 2)。印刷時に利用者ファイル等の複数ファイルから送付先リストを作成し、広報の先頭ページに宛先を差込み印刷するようにした。なお送付先リスト作成から差込み印刷までの一連の操作を FORTRAN プログラムを用いたプロシージャにより自動的に行えるようにした。

95.3~95.10 ワープロソフト (Lotus AmiPro) で作成・編集し、差込み機能により宛先を差込み印刷した (図 3)。

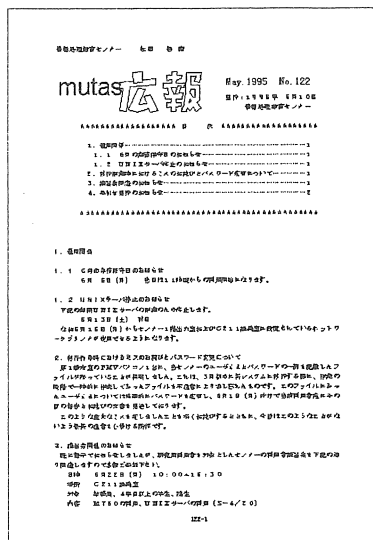


図 3

③コンピュータで作成・印刷し配布…コンピュータを介して配布

95.11~ MRメールシステム (学内メールシステム) によって全教職員にメールで配布するとともに、電子掲示板への貼り出しを行っている (図 4)。MRメールではテキストだけ使用する。

97.6~ ホームページに登録する (97年4月分から)。

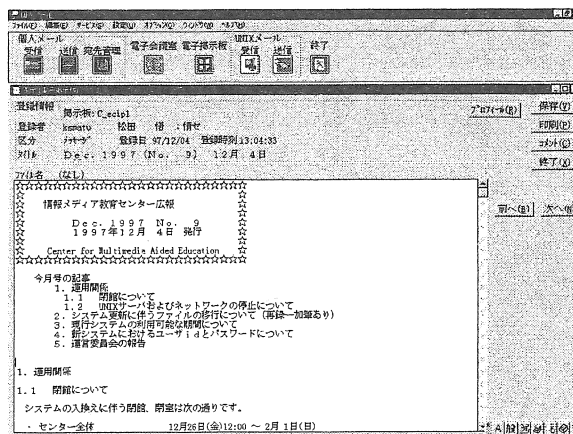


図 4

3. 広報ホームページ

広報ホームページでは、画面を分割しそれぞれに別のHTMLソースをロードすることができるフレーム機能を使用した。すなわち画面を左右に分割し、左のフレームに表示された広報一覧から目的の広報を選択すると、右のフレームに広報が表示されるようにしている。フレーム機能がないブラウザ (Microsoft Internet Explorer の Ver. 2.×以下の版) の場合は、フレームを使用せずに見ることができるようにした。

ホームページにロードできるイメージファイルの形式は、GIF 形式 (Graphics Interchange Format) と JPEG 形式 (Joint Photographic Experts Group) である。

97年6月当時の広報ホームページの表示画面を図5に、97年6月号の広報を表示した画面を図6に示す。GIF形式イメージの作成には、Microsoft Power Point と PaintShop Pro を使用した。

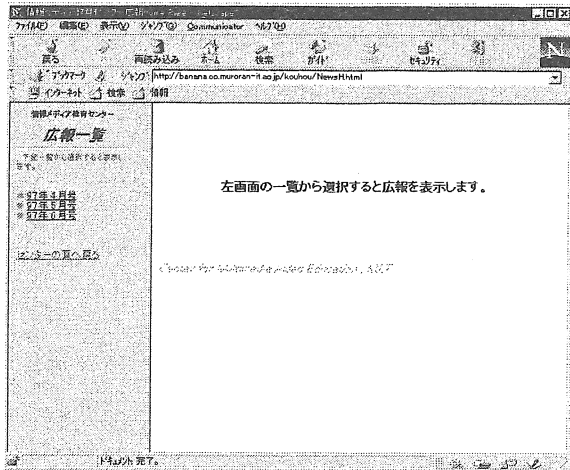


図 5

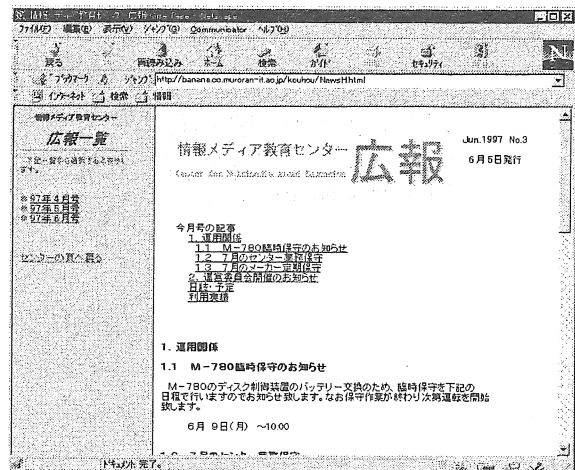


図 6

98年1月から広報ホームページの表示画面が図7のようになっている。また98年1月の広報を表示した画面を図8に示す。GIF形式イメージの作成には、Fractal Design Painter 4とPaintShop Proを使用している。

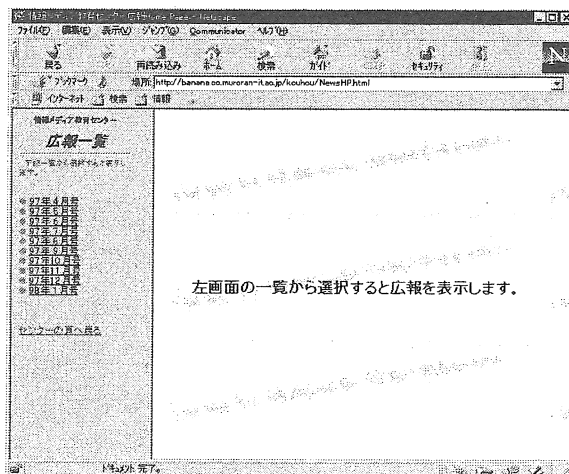


図 7

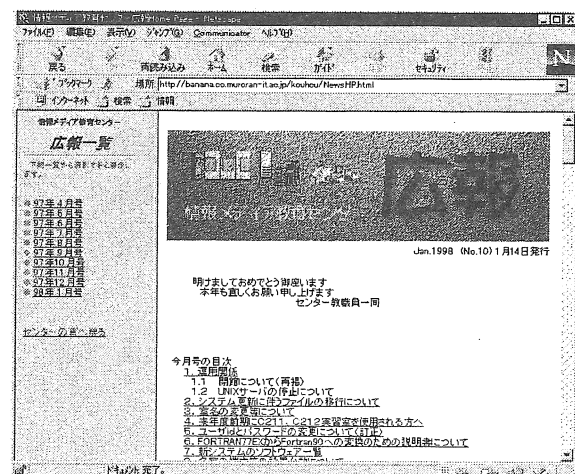


図 8

4 HTML言語

HTML (Hyper Text Markup Language) 言語は、ホームページを作成するために用いられる。広報ホームページを例にHTML言語を紹介する。

HTMLでは、<>で囲んだ目印(タグと呼ぶ)で構造を指定する。タグは基本的に<HTML>…</HTML>、<BODY>…</BODY>のように開始タグと終了タグ(先頭が/で始まる)が対になる(例外として
等)。HTML文書は、<HTML>に始まり</HTML>で終わる。<TITLE>と</TITLE>はタイトル部を表わすので、ブラウザで見ると、ここがタイトルバーに表示される。<BODY>と</BODY>はHTML文書の本文部を表わす。

広報ホームページの最初のHTML文書を図9に示す。

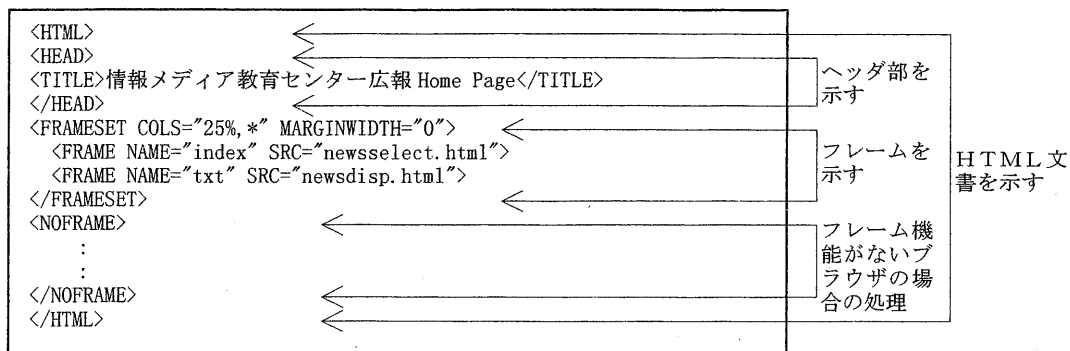


図 9

図 10 に広報を選択する左側のフレームにロードするHTMLを示す。

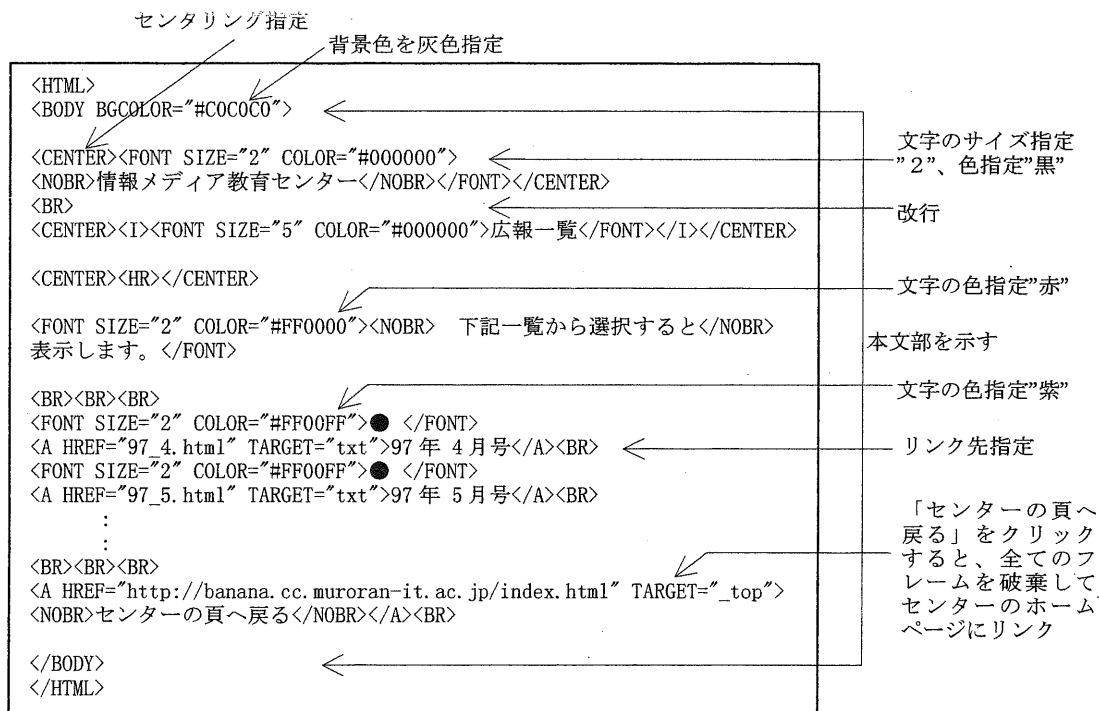


図 10

図 11 に広報を表示する右側のフレームにロードするHTMLを示す。

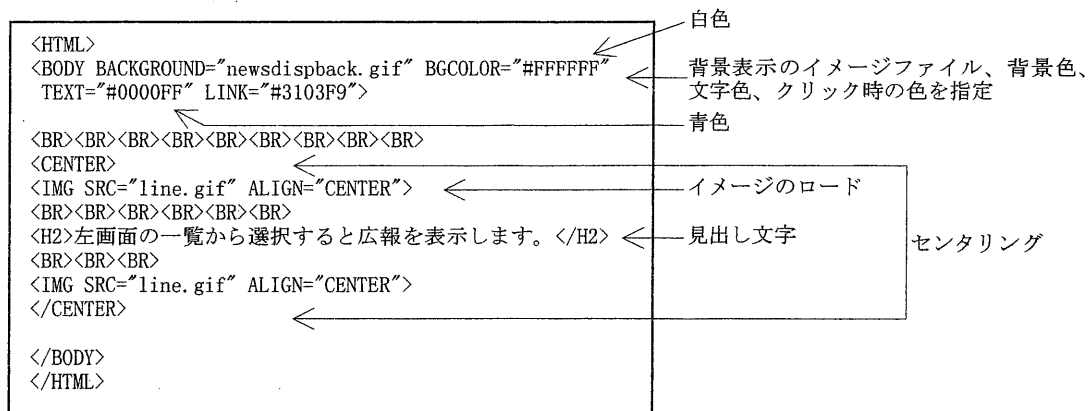


図 11

<BODY> タグで図 1 0 では背景色 (BGCOLOR) を灰色 (#C0C0C0)、図 1 1 では白色 (#FFFFFF) にした。図 1 1 では文字色 (TEXT) と背景にロードするイメージ (BACKGROUND)、さらにクリックした瞬間に表示する色 (LINK) も指定している。

<CENTER> と </CENTER> に挟まれた部分はセンタリングされる。

<Hn> は見出し文字を指定する (n は 1~6) もので、図 1 1 の <H2> は 2 番目に大きいサイズを指定している。なお見出し文字の前後は改行される。

 では文字サイズ (SIZE="n"ただし n は 1~7) と文字色 (COLOR="#xxxxxx"ただし x は 0~F) が指定できる。<I> はイタリック体を指定する。 は太字の指定である。

<HR> は水平線を引くもので、横幅、縦幅、表示位置も指定できる。

 は改行に使用するが、<NOBR> と </NOBR> は改行禁止に使用する (Netscape のみ)。

図 1 2 に右側のフレームにロードする広報の HTML の一部を示す。

<pre> <HTML> <BODY BGCOLOR="#FFFFFF">
 <TABLE BORDER="0"> <TR><TD> </TD></TR> <TR><TD ALIGN="right"> Jan. 1998 (No. 10) 1月14日発行 </TD></TR></TABLE> : :
 今月号の目次
 1. 運用関係
 1.1 閉館について (再掲)
 1.2 UNIX サーバの停止について
 2. システム更新に伴うファイルの移行について
 : 利用実績

 : : <TABLE BORDER="0" WIDTH="100%"> <TD>2. システム更新に伴うファイルの移行について</TD> <TD ALIGN="right"> </TD> </TABLE> <TABLE BORDER="0" WIDTH="90%"><TD> 先の広報でお知らせしておりますが、システム更新に伴うファイルの移行は下記の通り行います。

 ・UNIX サーバ上の利用者ファイルは自動的に新システムに移行されます。
 (ただし UNIX サーバのホームディレクトリにある cabinet サブディレクトリは削除されます。)
 ・移行の対象になるのは1月22日(木) 9:00 現在の内容です。
 (それ以降に作成・変更されたファイルは移行に反映されません。)
 ・詳細は広報No.10 (97年12月号) をご参照下さい。 </TD></TABLE>
 : : 先頭に戻る

 </BODY> </HTML> </pre>	<p>← リンク先となるアンカー名指定</p> <p>← テーブル定義</p> <p>← 選択時のリンク先指定</p> <p>← 画面幅に対し表題に100%使用。右側にリンク用にイメージ表示する</p> <p>← 表示されるイメージをクリックすると t1 にジャンプする</p> <p>← 画面幅に対し本文に90%使用。</p> <p>← 「先頭に戻る」を選択すると top というアンカーにジャンプする</p>
--	--

図 1 2

図9でフレーム機能を使用している。〈FRAMESET〉で左右に分割するために COLS="25%"を指定した(左のフレームが画面幅の25%となる)。〈FRAMENAME〉でフレームの名前とロードするHTMLファイルを指定している。

図10でリンクを使用している。〈A〉と〈/A〉に挟まれる部分を選択すると、HREFで指定されるHTMLソースをTARGETで指定されたフレームにロードする。また他のサーバにリンクする行も含まれている。図12では同じファイル内でリンクしている。

図12でテーブルを使用している。本文では行末を揃えたり、表に使用するだけでなく広報の表題にも使用している。BORDER="0"とすると枠を表示しない。また〈TR〉と〈/TR〉は横罫線、〈TD〉と〈/TD〉は縦罫線を引くと考えるとよい。〈TH〉と〈/TH〉は見出し等に使用する。

図11、12でイメージをロードする〈IMG〉を使用している。SRCでイメージファイル名を指定するが、他に外枠の幅の指定(BORDER="0"で枠無し)や画面に対する縦横の大きさ(HEIGHT、WIDTH)、イメージの横に付けるテキスト位置(ALIGN)等を指定することができる。

5 おわりに

広報の作成・編集にコンピュータを使用するようになり、作業が効率的に行えるようになった。また広報の配布にコンピュータを使用するようになって人手が不要になったこと、紙資源が多少ながら節約になった。広報発行にMRメールとホームページの両方を使用しているが、前者がテキストのみのため、後者も同様にテキストにしなければならず後者の機能を生かすことができない状況にある。センターの端末を含め、学内でのブラウザの環境が整備されてきていることから、近々ホームページのみの発行とする予定である。

現在の広報ホームページは、ほぼ基本的な機能で作っている。見易さや内容においてまだまだ不十分なので、今後も工夫していきたい。

本報告を書くに当たり貴重な助言をいただいた情報メディア教育センターの高木技官、早坂技官に謝意を申し上げる。

参考文献

河西朝雄・河西雄一「ホームページの制作」技術評論社